

社協だより



▶ 特集 聴覚に障害のある人へ
「伝える」「会話する」ためにできること 2・3
手話と筆談について学びましょう

辰のお面を付けて元気にポーズしてくれた
三原市立沼田西小学校4年生の
さかもとゆいと おかたにゆうみ
坂本結飛くん(左)と岡谷優海さん

聴覚に障害のある人へ 「伝える」「会話する」 ためにもできるマナー

「コミュニケーション」には、様々な方法があります。聴覚に障害のある人が用いる、手話や筆談もその一つ。三原市では、令和5年6月30日「三原市手話言語条例」が施行されました。聴覚に障害のある人が必要な情報を得て、意思疎通ができるように、障害のある人も、ない人も一緒に、手話や筆談について学んでみましょう。

手話

音声言語である日本語とは異なる独自の言語であり、手指や体の動き、表情など視覚を使って会話をするもので、ろう者(※)が物事を考えたり、コミュニケーションを図るための大切な言語です。
※ろう者…視覚的言語(手話等)を使用してコミュニケーションをする人々



三原市民保健・福祉まつりでの手話体験

聴覚に障害のある当事者団体「三原ろうあ協会」と、主に手話を学ぶ講座の修了生で組織された「手話サークル」(市内4団体)は、手話の啓発活動に取り組んでいます。市内の小中学校、高校での福祉体験学習や市内の福祉イベントに参加し、聴覚に障害のある人の暮らしについて話をしたり、簡単な手話を教えたりしています。



手話サークルでの活動

手話を学びたい人必読!

● 講座開講しています ●

手話で日常会話ができることを目的に、毎年9月～翌年6月に「手話奉仕員養成講座」を開講しています。



● 動画で手話を学ぼう ●

三原市
ユーチューブ
「しゅわわせ」



手話は「見る言語」

聞こえる人は音声言語を使いますが、ろう者は情報を全て目から得ます。ろう者にとって手話は大切な「見る言語」です。手話がもつと身近なものになって、手話でおしゃべりできる人が増えたらうれしいです。みなさんも簡単な手話から始めてみませんか? 楽しいと思いますよ。



三原ろうあ協会
代表
桶本 恵美 さん

手話以外にも、「コミュニケーションをとる方法があります!」

筆談や□の動きで伝える「□話」、空中に指を動かして文字を書く「空書」などの方法もあります。最近では、スマホを使ったり、音声で文字に変換するアプリもあり、便利になりました。手話が分からなくても、その人ができる方法でコミュニケーションしてくれるとうれしく思います。

問い合わせ

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター
電話 0848-07-6336
E-mail miharavs-c@m-shakyo.jp

簡単な手話を してみよう!



田中 孝美 さん

「お正月」
両手の人差し指を上下に平行に置く

「おめでとう」



田中 益江 さん

「おめでとう」の気持ちを込めて笑顔で表してね!

すぼめた両手をパッと開きながら上向きに上げる

書き文字によってお互いの意思を伝え合うコミュニケーション手法です。「聴覚に障害のある人のためのもの」と思われがちですが、健常者にとっても、表情や身振りなどと並んで、人の会話を支える手法の一つです。

三原のみんなが「見て」「話して」「楽しむ」
見話楽ボード



使い方は無限大

聴覚に障害のある人との筆談の他に、文字で伝えにくいことを絵で伝えたり、海外の人との会話にも使えます。手の平サイズで、持ち運びに便利です。



▲見話楽ボードの詳細情報はコチラ



きっかけは、子どもにもできる
ボランティア



三原vivaプロジェクト
実行委員会 副代表
柳原 綾(三原市社協)



2019年2月、お遊びキャラバン隊「遊ぼうさい」筆談ボードワークショップの様子

「子どもたちにもできるボランティア」として、筆談ボードのワークショップを行ったことがきっかけです。「書き文字」を見て情報が「伝わる・わかる・知る」ことは安心につながります。

見話楽ボードは購入できます

家や学校以外の安心できる居場所「城町邸」で見話楽ボードの作成・販売をしています。

問い合わせ

障害者生活支援センター

ドリームキャッチャー

電話 0848-03-3319

E-mail dream-c@m-shakyo.jp

コミュニケーションは支え合う社会をつくる第一歩

三原市社会福祉協議会 会長 馬越 豊文

謹んで新年のお慶びを申し上げます。日頃より、当会の活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。今年も関係者の皆さまと一緒に地域福祉の推進に取り組んで参ります。

写真は、手話で、馬越の「馬」を表現したものです。同じ形でも手振りが変わると意味が変わるので、奥深さと面白みを感じました。

社協が、三原市とともに進める「地域共生社会」は、世代や分野を超えてつながり、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をみんなで創っていく社会です。その実現に向けて大事なものは、お互

いを知るための「コミュニケーション」だと思います。障害のあるなしに関わらず、相互が分かり合い、支え合う三原のまちづくりに向けて、コミュニケーションは、その第一歩となります。

ぜひ、皆さんにも手話や筆談に触れてみてほしいと思います。



「馬」を手話で表現する馬越会長

「地域共生社会」の実現に向けて

第19回みはら福祉大会 開催

第19回みはら福祉大会が令和5年10月28日、三原市城町のサン・シープラザで開かれ、長年にわたり社会福祉の向上に尽力した26人と2団体が表彰されました。

約50人の参加者を前に、馬越豊文・三原市社会福祉協議会会長が表彰状を贈呈し「皆さまが今まで築き上げられてきた福祉活動は、住民相互の支え合いの仕組みづくりに大きな役割を果たしています」と激励しました。また、来賓の岡田吉弘市長が「皆さんの活動が、地域福祉の要である『人と人のつながり』をより強めていくものとして期待しています」と話しました。

広島県金融広報委員会 金融広報アドバイザーの磯崎紀夫さんが「老後の不安がなくなる5つのこと」をテーマに講演。「老後の暮らしについて家族で相談し、将来に向けて資金計画を立てることが大切」と話しました。



三原市社会福祉協議会会長表彰 26人 2団体

(敬称略、順不同)

■自治会・地区社会福祉協議会功労者(在職6年以上)

- 糸崎駅前町内会
力石 圭司
森川 朋和
三上 武晃
- 沼田西連合町内会
福田 照登
- 和木地区社会福祉協議会
杉谷 辰次

■ボランティア功労者(活動歴5年以上)

- ふれあいサークル桃
砂原フサコ
- 自助具作製ボランティアグループ みはらタコ工房
小島 妙子
武田 明子
- 点訳ボランティア「てんゆう会」
塩谷美千子
三吉 礼子
- 手話サークルうきしろ屋間部
鈴木 久江
- 中之町下地区「さくらんぼの会」
松尾 孝子

■特定非営利活動法人

- 三原ダイヤサロン
山際 正一
- 読み語りボランティア「ねむの木」
東田 順子
山手伊保子
- 給食ボランティア「バランス」
岩井妃富美
森島 洋子
有田 文恵
竹中 勝子
- さんさん・プラザ
池迫 正子
河野 秀子

- 神田ボランティアつくし会
金丸多恵子
阪井 瑞枝
柳谷美代子

■三原市社会福祉協議会役員(就任5年以上)

- 三原市社会福祉協議会
理事 佐木 学
監事 檜山 泰三

■優秀活動団体(活動歴6年以上)

- 吉田地区ふれあい見守り推進事業
ツインオートハープどらわこ



令和5年度 各種表彰被表彰者紹介

(敬称略、順不同)

ボランティア功労者に 対する厚生労働大臣表彰 2団体

- 和木卯の花会
- 樫梨ひまわり会



社会福祉関係功労者等知事表彰 4人 1団体

■社会福祉関係団体関係者(在職25年以上)

- 三原市社会福祉協議会
富中 里砂

■社会福祉事業奉仕者(活動歴15年以上)

- 朗読録音グループ「声の友」
平田 正人
- ふれあいサークル桃
中谷 安枝

- 読み語りボランティア「ねむの木」
貝原三代子

■社会福祉事業奉仕団体(活動歴10年以上)

- 読み語りボランティア「ねむの木」

広島県社会福祉協議会会長表彰 26人

■社会福祉施設関係功労者(在職15年以上)

- 社会福祉法人 松友福祉会
谷口 健一
村上 智則
川西佐由美
高橋 有倫
- 社会福祉法人 みどりの町
岡田 文江
村上 優子
檜山 浩一

■社協・民間団体関係功労者(勤続15年以上)

- 三原市社会福祉協議会
野上 晃
花戸 晃子

■社会福祉協働者(活動歴10年以上)

- 本郷給食ボランティア「バランス」
砂原 明子
- 三原市認知症の人と家族の会
多賀 良子

- 点訳ボランティア「てんゆう会」
小林 京子
- 読み語りボランティア「ねむの木」
西原 尊子
- 地域福祉ボランティアグループ「くわのみ会」
沼田 賢二
竹光美代子
添田 伴子
福本 孝雄
宝利 和昭
高村登志子

- さんさん・プラザ
西川千代美
新谷 幸子
平野 志摩
衣田 弘子
下西 信子
- 土取スマイルクラブ
伊藤 裕江
- ふれあいいいきサロン「福々えがお」
新田衣津子

令和5年度の表彰を受けられた皆さまの長年のご尽力に深く敬意を表しますとともに、心よりお慶び申し上げます。

大和町の配食ボランティア2団体が厚生労働大臣表彰受賞

～活動のみなもとは「楽しさ」～



榎梨ひまわり会 内藤千恵会長

吉川 厚生労働大臣表彰の受賞おめでとうございます。改めて活動について教えてください。

内藤 榎梨ひまわり会は会員21人で「ひとり暮らし高齢者へ手作り弁当の配食」をしています。

活動は約40年前から

大和町で活動する配食ボランティアの「榎梨ひまわり会」(内藤千恵会長)、「和木卯の花会」(宮田希子会長)が厚生労働大臣表彰を受賞。令和5年11月15日に開催された全国社会福祉大会でボランティア功労団体として表彰されました。大和町では令和4年度の「神田つくし会」、「大草あじさい会」に続く受賞です。内藤会長と宮田会長に活動について伺いました。(聞き手：三原市社協 吉川地域福祉課長)

自分が楽しむことが大事

また「ひとり暮らし高齢者交流会」のお手伝いもしています。昭和59年に発足し来年40周年です。

宮田 和木卯の花会も同じ年に結成し、会員は22人です。活動はひまわり会と同じです。以前は公園の清掃活動やデイサービスでの抹茶提供をしていました。

吉川 活動に関わって何年になりますか。

宮田 22年です。活動を通じて人と会えること、喜んでもらえることが活動の楽しさになっています。

内藤 9年です。近所の人から誘われたことがきっかけではじめました。「手作りのお弁当がおいしかったよ」の声がうれしかったです。

宮田 最初はしんどいこともあったけど活動を通じて「自分が楽しければ、相手にも喜んでもらえる」と思うようになりました。自らが楽しむことが大事ですね。

内藤 会員には年上の人が多く、調理の工夫や味付けを教えることもあって活動でのつながりに感謝しています。



和木卯の花会 宮田希子会長

つながりの機会を増やしたい

吉川 活動で大事にされている事はどんなことですか。

宮田 お弁当を届ける先には事情で地域行事に参加が難しい人もいるので、つながりを保つため「顔を合わせること」を大事にしています。

内藤 それすごく大事ですよ。会って話をする事を楽しみにされる人は多いです。

吉川 今後どんなことに取り組んでいきたいですか。

宮田 会員の高齢化も進んでいます。新たな会員を増やしていきたいです。

内藤 地域の見守り活動にも参加して、地域のつながりづくりに関わりたいです。

吉川 地域のつながりづくりに一緒に取り組んでいきましょ。本日はありがとうございました。

三原市社協各地域センターでは、地域福祉担当者を配置し、地域住民と一緒に様々な福祉活動を推進しています。お気軽にお問い合わせください。

三原地域センター ☎ 0848・63・0570
本郷地域センター ☎ 0848・86・3607
久井地域センター ☎ 0847・32・7101
大和地域センター ☎ 0847・34・1214



榎梨ひまわり会が作るお弁当を手渡す民生委員(写真右)

パーキンソン病交流会 に参加しませんか？

毎月1回、パーキンソン病患者やその家族が集まり、情報交換する会を開催しています。年1回は、音楽療法を取り入れた活動もしています。

会では同じ病気の悩みを分かち合える仲間を募集しています。身近にパーキンソン病に悩んでいる人がいたら、交流会があることをお伝えください。

- とき** 毎月第3木曜日 13時30分～15時30分
ところ サン・シープラザ内
参加費 無料(ただし音楽療法を取り入れた活動日は参加費が必要)
申込・問い合わせ
 三原市ボランティア・市民活動サポートセンター(☎0848・67・9339)まで



音楽に合わせて楽器を奏でてリフレッシュ!

家の外に『SUNぽ』 しませんか？

ひきこもり相談支援ステーションでは、おとずれた人が、それぞれのペースでのんびり、ゆっくりと過ごせる居場所「SUNぽ」を作りました。無理に話をする必要はありません。気軽に遊びに来てみてください。

『SUNぽ』の名前の由来…

散歩がてら来てもらえたら、
太陽のようなあたたかい場所にしたい☀
という思いを込めました

- とき** 毎週木曜日 13時30分～15時30分
ところ サン・シープラザ3階
 ドリームキャッチャー内
問い合わせ 三原市ひきこもり相談支援ステーション(☎0848・36・6250)まで



問い合わせ
三原市ボランティア・市民活動サポートセンター
ところ サン・シープラザ4階
開所時間 月～土(日・祝を除く)
 8時30分～17時15分
電話 0848・67・9339
FAX 0848・66・0509
E-mail miharavs-c@m-shakyo.jp

活動前にボランティア活動保険に 加入しよう！

活動中の怪我や賠償責任を補償する保険です。年度更新なので、忘れず加入してください。

- ① QRコードから事前登録
- ② ボランティア活動保険加入
- ③ 登録メールアドレスで活動依頼受信
- ④ 活動予約(複数日選択可)
- ⑤ 活動



発災



登録方法

災害時に、被災者の支援活動をするボランティアです。活動の内容や時間の相談も可能なので、安心して登録してください。

ネットで5分！
**災害ボランティア
 登録しよう！**



教育支援資金の申請はお早めに

教育支援資金は、所得が少ない世帯に対して、高校や大学、専門学校などへの進学や通学に必要な資金を貸付する制度です。貸付限度額は**就学支度費が50万円以内**、**教育支援費が大学で月額6.5万円以内**、**高校で月額3.5万円以内**です。貸付までは審査等で1か月以上かかりますので、お早めにご相談ください。

問い合わせ 三原市社会福祉協議会 福祉支援課 (☎0848・63・0570)まで



詳細は
コチラから

社会福祉法人 地域への貢献活動紹介

ほっとする交流の場 認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域の人が集い、交流や悩みの相談ができる認知症カフェ。市内9か所のうち3か所を、社会福祉法人が運営や会場提供をしています。

あさうた喫茶を運営する社会福祉法人泰清会の河野芳満地域支援室長は「**社会福祉法人の強みは、様々な福祉専門職が悩みを傾聴したり、専門機関へのつながりができること。誰もが集える場づくりを通じて地域に貢献していきたい**」と話します。

参加者から「認知症のある家族と一緒に参加できる場はありがたい」との声もあり、社会福祉法人の貢献活動は安心して暮らせる地域づくりにつながっています。



あさうた喫茶の様子

法人名	カフェ名
泰清会	あさうた喫茶
和来原会	さんカフェ
亀甲会	音楽療法かめちゃん

三原市 認知症カフェ

はじめの一步、新たな一步

～介護職員初任者研修 全課程終了～



介護の基本的な知識や心構え、身体に負担の少ない介護技術などを学ぶ介護職員初任者研修が、令和5年9月から12月まで、サン・シープラザで行われました。

初心者から経験者まで14人が参加。全14回の講座は、座学と実技があり、参加者らは、みな笑顔でコミュニケーションを取り合い、実技にもひたむきに取り組んでいました。

修了後、参加者からは「複数の事業所で働いて

きましたが、事業所によって支援の仕方が違うので、“こうした方がいい”ということが明確になった」「自分の支援のやり方を再確認できた」「就職したときにスムーズに支援ができると思う」という声が聞かれました。

全課程修了者には、旧ホームヘルパー2級相当の資格が与えられました。この資格は、介護福祉業界への就職のほか、家族の介護や地域活動などにいかされます。



フットケアの実技に取り組む参加者

『FMみはら』で福祉の魅力を発信中!



1/15・29、2/19、3/4・18、4/1(月)18:40～より、三原市内の介護・福祉事業所に勤務する職員さんが、『FMみはら (FM84.7MHz)』に出演します。パソコンやスマートフォンの場合は、インターネットサイマル放送からリアルタイムでお聴きいただけます。

福祉・介護のお仕事の魅力をたっぷり語りますので、ぜひお聴きください(^^) /



FMみはら
サイマル放送



eスポーツ体験会 「ぷよぷよ」 参加者募集



昨年大好評だった「eスポーツ体験会」を今年も開催します！

種目は今回も「ぷよぷよ」です。プロ選手の「いさな」と対戦もできます！大勢の人や大きな音が苦手な人には、別室を準備しますので、申し込みの際にお知らせください。

やったことがある人もない人も、「ゲームがスポーツ？」と思っている人も、皆さんふるってご参加ください！

とき 2月17日(土)13時～16時

ところ サン・シープラザ3・4階

対象 三原市内に在住・在学中
障害のある人

定員 30人程度(申込先着順)

申込・問い合わせ 障害者生活支援センタードリームキャッチャー
電話 0848・63・3319 FAX 0848・63・3359
E-mail dream-c@m-shakyo.jp

**参加費無料
見学もOK**



お願い

お寄せいただきましたご寄付金は、地域福祉活動やボランティア活動の育成、各種の情報提供などに使わせていただきます。皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

<p>本部 三原地域センター受付分</p> <p>一般</p> <p>三原市パイロットクラブ</p> <p>木原 仁井 武則</p> <p>香典返し</p> <p>八幡町 井田 京子</p> <p>物品 食品</p> <p>中平 一貴</p> <p>吉本 利夫</p> <p>本郷地域センター受付分</p> <p>一般</p> <p>本郷町船木</p> <p>みはら秋の音楽祭実行委員会</p> <p>香典返し</p> <p>下北方 増田 和明</p> <p>久井地域センター受付分</p> <p>一般</p> <p>Daddy Short-Leggs</p>	<p>久井町山手野 脇坂 友彦</p> <p>久井町坂井原 豊田 実夫</p> <p>久井町羽倉 杉森 政規</p> <p>久井町和草 大谷 智秋</p> <p>久井町江木 奥田 学</p> <p>久井町筋原 杉原 進</p> <p>香典返し</p> <p>大和地域センター受付分</p> <p>香典返し</p> <p>大和町下徳良 村上 基治</p> <p>大和町萩原 後藤 雅司</p> <p>大和町福田 小原 英樹</p> <p>大和町大草 越水 正明</p> <p>大和町平坂 植村 正宏</p> <p>大和町椋梨 上岡 庸文</p>
--	---

善意をありがとうございます

令和5年9月1日～11月30日受付分

くらしの無料相談窓口 予定表 (1~4月) 事前予約不要

サン・シープラザ4階を会場に以下の相談窓口を開設しています。

	時間	1月	2月	3月	4月
不動産相談	10時～15時	5日、19日	2日、16日	1日、15日	5日、19日
戦没者遺族相談		18日	1日、15日	7日、21日	4日、18日
行政相談	13時～16時	15日	19日	18日	15日
療育・教育相談		22日	5日、26日	4日、25日	1日、22日
成年後見相談 ※要予約	14時～16時	11日	8日	14日	11日

各地域センターでの「心配ごと相談」(相談員は民生児童委員・行政相談委員・人権擁護委員等)と「障害者なんでも相談」の日程は、各地域センター(5面記載)へお問い合わせください。

編集後記

明けてもうすぐ春です。今年こそは念願の山へいきたいと思っています。あ、もちろん「低山」です(笑) まだまだ電には遠いです。

今回の発行は
5月1日
だよ！
お楽しみに☆



社会福祉法人 三原市社会福祉協議会

〒723-0014 広島県三原市城町一丁目2-1 三原市総合保健福祉センター(サン・シープラザ4階)

TEL 0848・63・0570 FAX 0848・63・0599 E-mail info@m-shakyo.jp
HP <http://www.m-shakyo.jp> Facebook <https://www.facebook.com/miharavc/>



ホームページ



Facebook